

# 実践の見える化と支援の根拠に資する 「生活支援記録法（F-SOAIP）」研修会

<午前>在宅系：居宅・包括等の介護支援専門員など  
<午後>施設系：介護保険施設等の介護支援専門員など

講師：埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授 鳶末 憲子 氏

令和元年9月15日（日）

午前・在宅系▷9:30～12:30

午後・施設系▷13:30～16:30

@大分県社会福祉介護研修センター



大好評  
でした！



～受講者の声～

<午前> 在宅系

- \*「F-SOAIPを学び、日常の叙述体記録が、自分の考えの記載が少ないと感じた。記録をまとめ、明確化するためにも意識して記載できるようにしたい」
- \*「すぐに実践できることなので、事業所内でのスタンダードにできたらと思う。指導もしやすくなりそう」

<午後> 施設系

- \*「利用者の意向をふまえながら、支援の方針がぶれないように記録できるようにしなければいけないと思いました」
- \*「叙述体の記録からF-SOAIPの記録法に取り入れたいと思います」
- \*「有効な手法だが、どう施設に広めていけば良いか悩ましい・・・」